

別紙

樹幹注入 特記仕様書

1. 使用する薬剤

- (1) 性状 淡黄色澄明水溶性液体
- (2) 有効成分 エマメクチン安息香酸塩(含有率2.0%)
- (3) 効果 マツノザイセンチュウに対し高い殺線虫活性を示す
- (4) 安全性 毒物分類 普通物

ただし、支給品と同じ薬剤を使用することを基本とし、調達が困難等の理由により同等品または同程度の薬効の薬剤を使用する場合は、監督職員と協議すること。

2. 薬剤の注入量等

別紙1「薬剤注入量の基準」のとおり

3. その他

- (1) 薬剤を請負者が調達する場合は、使用する前に監督職員の確認検査を受けること。
- (2) 作業期間中は、作業現場へ関係者以外の立ち入りを禁止する措置を講じ、作業注意看板を常時設置すること。
- (3) CSF(豚熱)の感染拡大防止のため、静岡県におけるCSF対策を熟知して適切な対策に努めること。
- (4) 仕様書に定めのない事項については、監督職員と協議すること。

別紙1 薬剤注入量の基準

1 主な樹幹注入用薬剤一覧

薬剤名	有効成分(含有率%)	製剤毒性	有効年数	単位容量(mℓ)
マツガード	ミルベメクチン(2.0%)	普通物*1	6年	60
ショットワン・ツー液剤	エマメクチン安息香酸塩(2.0%)	普通物	6年	60
メガトップ液剤	ネマデクチン(3.6%)	普通物*2	5年	40
グリンガード・NEO	酒石酸モランテル(20.0%)	普通物	7年	90
マツガード クイック	ミルベメクチン(3.0%)	普通物	7年	40

*1：普通物とは、「毒物及び劇物取締法」に掲げる「毒物」「劇物」「特定毒物」の指定を受けないものをいう。

*2：平成20年12月21日付で「劇物」指定解除

2 薬剤の生立木1本当たりの注入量

胸高 直径階 (cm)	マツ1本当たりの注入量の基準								
	マツガード		グリンガード・NEO		ショットワン・ツー 液剤		メガトップ液剤		マツガードクイック
	60mℓ /本	mℓ 本	90mℓ /本	mℓ 本	60mℓ /本	mℓ 本	40mℓ /本	mℓ 本	40mℓ /本
11~15	60	1	90	1	60	1	40	1	40
16~20	120	2	135	1.5	120	2	80	2	80
21~25	180	3	270	3	180	3	120	3	120
26~30	240	4	360	4	240	4	160	4	160
31~35	300	5	450	5	300	5	200	5	200
36~40	360	6	540	6	360	6	240	6	240
41~45	420	7	630	7	420	7	280	7	280
46~50	480	8	720	8	480	8	320	8	320
51~55	540	9	810	9	540	9	360	9	360
56~60	600	10	900	10	600	10	400	10	400
61~65	660	11	990	11	660	11	440	11	440
66~70	720	12	1080	12	720	12	480	12	480
71~75	780	13	1170	13	780	13	520	13	520
76~80	840	14	1260	14	840	14	560	14	560
81~85	900	15	1350	15	900	15	600	15	600
86~90	960	16	1440	16	960	16	640	16	640
91~95	1020	17	1530	17	1020	17	680	17	680
96~100	1080	18	1620	18	1080	18	720	18	720
101~	5cm増すごとに1本追加								

*注入量は、農薬登録票に記載されている胸高直径ごとの使用量（使用量に範囲があるときは上限値を採用）を基準に算定し、記載している。

*注入量は本基準を満たし、さらに大径材・高木・枝葉の多い木等では適宜增量するなど、対象木の特徴を見て調整すること。

*本基準に記載のない薬剤を使用する場合は、本基準の薬剤と同等以上の薬剤とすること。